

参議院事務局職員採用総合職試験

専門試験（論文式）
【法律】

解答時間 3時間

問 題

「憲法」については必ず解答し、「行政法」、「民法（総則、物権）」、「民法（債権、親族・相続）」については3科目のうちから2科目を選択して解答しなさい。

『憲 法』

いわゆる「教師の教育の自由」について次の問いに答えなさい。

1. 普通教育機関の教師に教育の自由は保障されているか。また、その内容は何か。教育権の所在に関する議論と関連させて論じなさい。
2. 学習指導要領を離れた授業、考査、成績評価を行った教師に不利益処分を課すことはできるか、論じなさい。
3. 教師が生徒の思想信条を推知させる事実を内申書に記載することは教師に与えられた裁量の範囲内か、論じなさい。

『行 政 法』

食品衛生法第52条第1項、農地法第3条第1項及び鉱業法第21条第1項では、全て同じ「許可」という文言が使われているが、その法的性質は異なるものと考えられている。どのように法的性質が異なるのか、具体的に説明しなさい。

【参考条文】

○食品衛生法

第五十一条 都道府県は、飲食店営業その他公衆衛生に与える影響が著しい営業（食鳥処理の事業を除く。）であつて、政令で定めるものの施設につき、条例で、業種別に、公衆衛生の見地から必要な基準を定めなければならない。

第五十二条 前条に規定する営業を営もうとする者は、厚生労働省令で定めるところにより、都道府県知事の許可を受けなければならない。

2 前項の場合において、都道府県知事は、その営業の施設が前条の規定による基準に合うと認めるときは、許可をしなければならない。ただし、同条に規定する営業を営もうとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可を与えないことができる。

一～三 略

3 都道府県知事は、第一項の許可に五年を下らない有効期間その他の必要な条件を付けることができる。

○農地法

（農地又は採草放牧地の権利移動の制限）

第三条 農地又は採草放牧地について所有権を移転し、又は地上権、永小作権、質権、使用貸借による権利、賃借権若しくはその他の使用及び収益を目的とする権利を設定し、若しくは移転する場合には、政令で定めるところにより、当事者が農業委員会の許可を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合及び第五条第一項本文に規定する場合は、この限りでない。

一～十六 略

2～6 略

○鉱業法

（設定の出願）

第二十一条 鉱業権（特定鉱物以外の鉱物を目的とするものに限る。）の設定を受けようとする者は、経済産業大臣に出願して、その許可を受けなければならない。

2・3 略

『民法（総則，物権）』

A, B, Cの3人は、お金を出し合って普通自動車甲を購入し、等しい持分の割合で甲を所有することにした。A, B, Cの間で甲の使用等に関して特段の合意はないものとする。

この事例について次の問いに答えなさい。

1. Aが甲をレース用の自動車に改造したいと思った場合、AはB, Cの同意を得ることなしに甲を改造することができるか、論じなさい。
2. 第三者DがA, B, Cの誰からも許しを得ることなく甲を使用している場合、A, B, CはDに対して甲の返還を求めることができるか、論じなさい。
3. BがA, Cの同意を得ることなしに独占的に甲を使用している場合、A, CはBに対して甲の返還を求めることができるか、論じなさい。

『民法（債権，親族・相続）』

Aは、著名漫画家による漫画の原画甲を代金100万円でBに売り渡す契約を締結した。Bは甲を150万円で転売することができるものとする。

この事例について次の問いに答えなさい。

1. 甲の引渡し期日前、Aが誤って甲をごみと一緒に焼却してしまった場合、Bはこの契約を解除することができるか、また、解除のほかにもどのような請求ができるか、論じなさい。
2. 甲の引渡し期日前、A宅に保管されていた甲が隣家からの類焼で焼失してしまった場合、Bは解除以外にどのような請求をすることができるか、論じなさい。
3. AとBは甲の引渡しをA宅で行うことを約し、Aは引渡しの準備をして待っていた。しかし、引渡し期日を過ぎてもBが受け取りに行かないでいる間に、A宅に保管されていた甲が隣家からの類焼で焼失してしまった場合、A・B間の法律関係について論じなさい。

参議院事務局職員採用総合職試験

専門試験（論文式）
【経済】

解答時間 3時間

問 題

「経済理論」、「財政学」、「経済政策」の3科目全てに解答しなさい。

『経済理論』

政府は公共財と呼ばれる国防や公衆衛生、公園、一般道路などの財及びサービスを提供している。これに関する次の問いに答えなさい。

1. なぜ私企業ではなく政府が公共財を提供する必要があるのかを、公共財の特徴について触れながら、説明しなさい。
2. 2人の消費者からなる社会における公共財の最適供給量を、私的財の最適供給量と比較して、説明しなさい。なお、説明に際しては図を用いること。
3. 政府の公共財への投資量を多数決に基づく投票によって決めることは効率的と言えるのかを論じなさい。

『財政学』

公債と財政赤字に関する次の問いに答えなさい。

1. 国債には、いわゆる「建設国債」と「赤字国債」がある。この両者について、制度的な観点からのそれぞれの違いを明確にしなさい。
2. 政府にとって公債の発行は、租税の徴収とともに資金調達手段の一つである。公債の発行による資金調達と、租税の徴収による資金調達について、制度的な観点からの特徴（長所、短所等）をそれぞれ挙げ、比較しなさい。
3. 財政の持続可能性に関するドーマーの定理について説明しなさい。

『経済政策』

資産価格とバブルに関する次の問いに答えなさい。

1. 株価の決定要因にはいくつかの考え方があるが、そのうちの一つが現在の株価は将来の配当によって決定されるという配当割引モデルである。この配当割引モデルについて式を用いて説明しなさい。
2. 1980年代後半から1990年代にかけて日本では地価や株価が高騰し、その後、急速に下落した。いわゆるバブルの発生と崩壊である。この地価や株価の高騰にどのような背景があったのか、その後の資産価格の下落の背後にどのようなメカニズムがあったのかについて説明しなさい。